

## 大東文化大学社会学部による鶴岡・夏合宿報告

## ～鶴岡を初めて訪問した学生たちは何を感じたのか？～

## 1、大東文化大学の概要

①1923年(大正12年)に設立、9学部21学科 (文・経済・外国語語・法学・国際関係・スポーツ健康科学・社会)

②学生数……11,653名 (2018年4月1日現在 学部・大学院)

●社会学部は、2018年4月に新設された一番新しい学部です。(学生数207人)

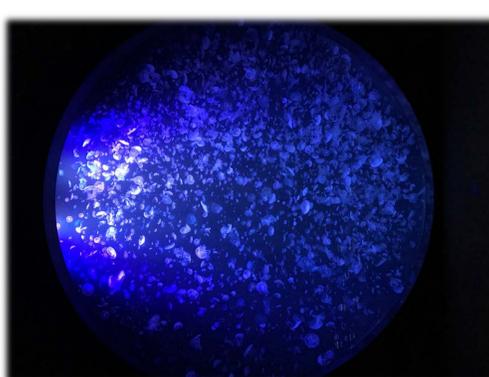
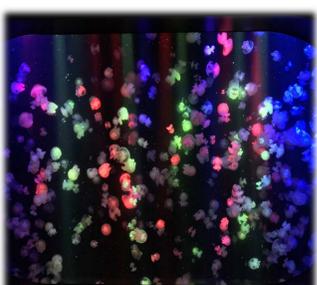
●2年次から「多文化と共生コース」、「都市と地域コース」、「メディアと情報コース」に分かれ、「都市と地域コース」は、国や地方公共団体の政策や地域社会の実態調査を行います。

## 2、大東文化大学と鶴岡市のつながり

●初代学長である土屋竹雨(1887～1958年)は、鶴岡市出身!

●長年、鶴岡市藤島地域で調査活動を行っていた、阿部英之助先生が、社会学部に着任。(東洋大学社会学部で11年間・延べ377人の学生と藤島地域で調査活動を行い、移住者2名を輩出。)

## 3、鶴岡での夏合宿 ～学生たちの渾身の1枚より～



## 4、学生達の感想

- ・いなほ号に乗っている途中から見えた海や田んぼの景色がとても綺麗だった。
- ・山形の海は、透明度も高くとても綺麗だった。
- ・羽黒山の五重塔へ向かう道はたくさんの緑に囲まれ、歩いていてとても気持ちの良い道でした。自然の中でとても神聖な感じで、気が引き締まる思いでした。五重塔や須賀の滝を見たりと、自然に触れられて楽しかったです。
- ・お米(はえぬき・つや姫)とだだちゃ豆がこの上なく美味かった。鶴岡に来たら絶対に食べてほしいと思った。
- ・鶴岡で食べた芋煮には豚肉が入っていたけれど、夏合宿後の家族で行った銀山温泉では牛肉の入った芋煮が出て、びっくりした。どちらも美味しかったが、私は鶴岡で食べた芋煮のほうが好きだと思った。
- ・鶴岡は東京に比べて騒音が少なく空気もきれいな素晴らしい土地で、地元の方々は何でも教えてくれるいい人ばかりでした。

来年度以降、ゼミとして本格的に鶴岡市での調査活動を行いますのでどうぞよろしくお願いいたします!